

# 鹿の湯 つちや

Shikanoyu Tsuchiya  
(群馬県嬭恋村)



20年ぶりくらいに鹿沢のスキー場へやってきた。鹿沢は上部ゲレンデが廃止され、客がかなり少ない。前回来た時とは様変わりである。それでも硬くてスピードの出るバーンは相変わらずだ。この雪質のせいか、スノーボーダーがほとんどいないのも快適である。カービングが気持ちいい。

スキーでくたくたになってやってきたのが、今回紹介する宿のつちやである。つちやは新鹿沢温泉街の一角にある。温泉街と言っても数件の宿があるだけで、メインの通りにはほとんど人通りはない。つちやはかなり古い宿であり、宿泊した部屋の柱は極太。暖房機器、照明器具は40年以上は使っているのではと思われるレトロなものである。

つちやの夕食は量が多い。しかも、味が濃い。すなわちご飯が進む。酒を飲んでいては、とても全部食べられない量である。朝食は、希望により弁当とすることができる。朝早く宿を出発したい人のために、6:00にはフロントに弁当が置かれているので、大変ありがたい。なぜならば、鹿沢のリフト始動は8:00であり、宿で普通に朝食を食べていては、快適な朝一バーンを独り占めできないのだ。

さて、つちやの風呂を紹介しよう。風呂は山の湯（1階）、鹿の湯（B1階）と命名されている。本日の男湯は山の湯である。

脱衣室の入口には無料で使用できる貴重品ロッカーが6個あるが、鍵を腕に装着できないので、紛失

しないように注意が必要である。脱衣室には脱いだ物を入れる棚が 48 個あるが、半分はコロナ対策のために使用禁止になっている。その他、脱衣室には洗面台 4 個があり、綿棒、化粧水、乳液、馬油、アロエクリームなどのアメニティーがある。



浴室はシンプルそのものだ。洗い場は 12 か所あり、シャンプー、ボディーソープが完備。浴槽は 2 つあり、連通管で連結されている。湯の注ぎ口は 1 か所しかないの、注ぎ口のない方の浴槽はかなりぬるい。長湯をするにはもってこいである。浴槽の周囲は温泉の成分でコテコテになっている。

ちなみに、つちやの湯はマグネシウム・ナトリウム-炭酸水素塩泉（低張性中性高温泉）で、筋肉または関節の慢性的な痛みまたはこ

わばり（関節リウマチ、変形性関節症、腰痛症、神経痛、五十肩、打撲、捻挫などの慢性期）、運動麻痺における筋肉のこわばり、胃腸機能の低下（胃がもたれる、腸にガスがたまるなど）、軽症高血圧、耐糖能異常（糖尿病）、軽い高コレステロール血症、軽い喘息または肺気腫、痔の痛み、自律神経不安定症、ストレスによる諸症状（睡眠障害、うつ状態など）、病後回復期、疲労回復、健康増進、きりきず、末梢循環障害、冷え性、皮膚乾燥症などに効くという。

明日も鹿沢でスキーだ。温泉で疲れを癒し、また朝から体を酷使うことになりそうだ。

DATA

名称	鹿の湯 つちや
所在地	群馬県吾妻郡嬭恋村田代
電話	0279-98-0314
営業時間	24 時間入浴可（日帰り入浴は要確認）
定休日	無休
入浴料	500 円
サウナ	なし
サウナ内のテレビ	なし
取材日	2021 年某月某日
取材	銭湯愛好会東京支部
最寄りのスキー場	鹿沢